



2018年10月15日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**KMD FORUM 2018 “Journey” 開催（11/2・11/3）
～大学院メディアデザイン研究科 10年の軌跡と研究成果を発表～**

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（以下、KMD）は、2018年11月2日（金）、3日（土）の2日間、日吉キャンパス協生館（神奈川県横浜市港北区）にて対外成果発表の場となるKMD Forum 2018 “Journey” を開催します。KMD が設立され10年が経ち、本年はKMD のさまざまな旅（ジャーニー）をテーマに開催し、KMD の3つのジャーニーとして、KMD 自身のメディア・イノベーション育成メソッドの軌跡、学生たちの入学から修了までの軌跡と修了後の軌跡、そしてKMD の中核を成す「リアルプロジェクト」の軌跡をご紹介します。また、KMD の次の10年のジャーニーについての計画も発表する予定です。皆様のご参加をKMD 一同心よりお待ちしております。

1. 趣旨

KMD は 2008 年の開設以来、国際色豊かで多様性に富んだ人々が集い、国籍・年齢・経験分野を問わず、国内外の企業・NPO などの組織や個人と関わりながら、未来に向けた新しい価値を創造するために4つの創造性（デザイン、テクノロジー、マネジメント、ポリシー）を融合させた研究活動に取り組んできました。2010年より毎年開催している「KMD Forum」では、KMD の研究活動のエンジンである「リアルプロジェクト」の成果を、シンポジウム、ワークショップ、インタラクティブデモなどのプログラムを通じて一般公開しています。

2. 開催概要

日 時：2018年11月2日（金）10:00～18:00

11月3日（土）10:00～18:00

会 場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館

（東急東横線・目黒線／横浜市営地下鉄 日吉駅下車 徒歩1分）

入場料：無料

主 催：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

内 容：シンポジウム、トークイベント、体験型の研究成果発表展示（ワークショップ、デモンストレーション）

※プログラムの詳細は参考資料やウェブサイト等をご覧ください。ウェブサイト：<http://forum.kmd.keio.ac.jp/>Facebook：<https://www.facebook.com/KMDForum>

*ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

*本リリースは、文部科学記者会、科学記者会、各社社会部、科学部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先：慶應義塾大学 日吉学生部大学院担当（メディアデザイン研究科担当）

TEL：045-564-2517 Email：kmd@info.keio.ac.jp <https://www.kmd.keio.ac.jp/>

本発表資料の配信元：慶應義塾広報室

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640 Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>



<見どころ>

1. オープニング・基調講演

アメリカ合衆国に拠点を置くデザインコンサルタント会社 IDEO の最高経営責任者ティム・ブラウン氏をお招きし、基調講演を行います。

- 講演タイトル：A New Age of Design
- How might we design differently in the future?
 - スピーカー：ティム・ブラウン氏 | CEO, IDEO
 - ホスト：稲蔭正彦 | メディアデザイン研究科委員長
 - 日時：2018年11月2日（金）10:00～12:00（受付開始 9:20～）
*9:50 までの着席にご協力願います。
 - 場所：協生館 2F 藤原洋記念ホール
 - 言語：英語 ※同時通訳あり
- ※なお、基調講演については、一般の方向けの事前参加申込は終了しております。報道機関の方のご取材は可能ですのでお問い合わせください。



2. トークセッション・シンポジウム

トークセッション・シンポジウムでは、KMD の描く創造社会について、またそれをリードする人材として社会に巣立っていった3名のメディア・イノベータと議論する「KMD10年のジャーニー：メディア・イノベータ」セッション（11月2日 13:30 - 14:20 開催予定）のほか、次の10年のジャーニーについて計画を発表する2つのセッション等を予定しています。

3. 展示・ワークショップ

KMD のカリキュラムの軸である「リアルプロジェクト」の軌跡を体験型展示で紹介します。リアルプロジェクトのゴールである「ソーシャル・インパクト」を目指し、「0から1を」の標語のもとでプロジェクトに取り組む過程を紹介します。

